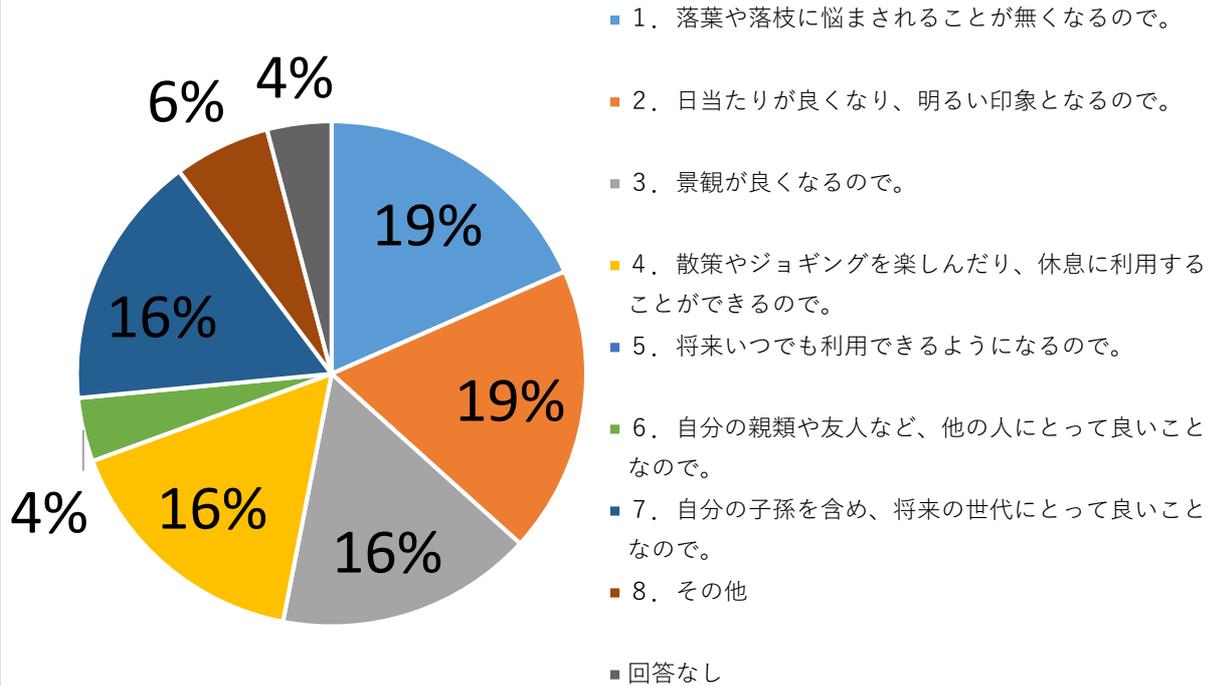


5号緑地 アンケート調査結果報告書

1 黒浜緑地整備事業について、おたずねします

こちらの項目は、黒浜緑地の利用方法をイメージしていただくことにより、緑地に期待する機能について、おたずねすることを目的とした設問となります。

1-問1 黒浜緑地整備計画説明会資料のような整備が行われると、あなた、またはあなたの世帯にとって、良いことがあると思う場合、その理由は何ですか？（○はいくつでも）



【集計結果】

「1. 落葉や落枝に悩まされることが無くなるので」「2. 日当たりが良くなり、明るい印象となるので」「3. 景観が良くなるので」「4. 散策やジョギングを楽しんだり、休息に利用することができるので」「5. 将来いつでも利用できるようになるので」が、ほぼ均等であり、「回答なし」を含む、他の3つの回答も、ほぼ均等となっています。

【結果分析】

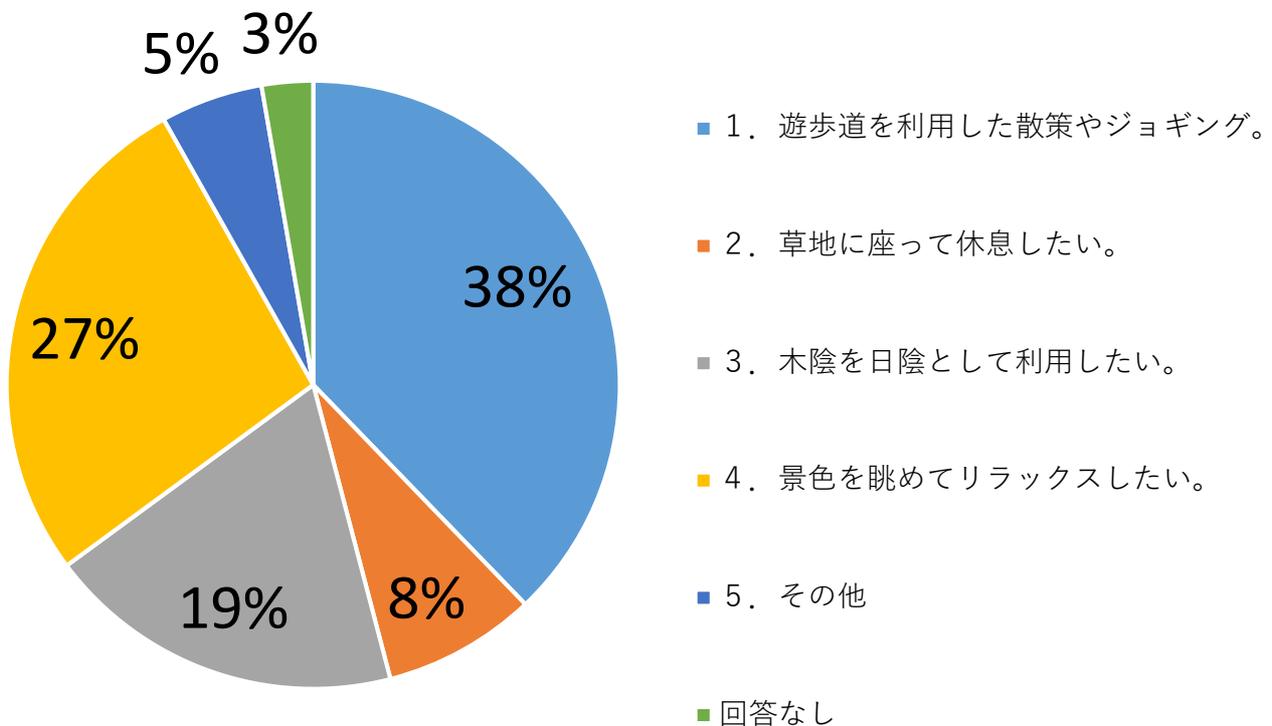
「1. 落葉や落枝に悩まされることが無くなるので」「2. 日当たりが良くなり、明るい印象となるので」「3. 景観が良くなるので」「4. 散策やジョギングを楽しんだり、休息に利用することができるので」「5. 将来いつでも利用できるようになるので」が、ほぼ均等であることは、樹木による課題解決と同時に、散策やジョギング、休息のために樹木による木陰や、緑化された空間の創出への期待があるものと考えられます。

また、「5. 将来いつでも利用できるようになるので」との回答から、現在、緑地の利用は無くとも、整備の方向性により利用の可能性は高まるものと考えられます。

なお、「回答なし」も4%確認されており、その意図にも注意を払う必要があります。

5号緑地 アンケート調査結果報告書

1-問2 整備後に『緑地』を利用するとして、どのような目的での利用をされると思われますか？（○はいくつでも）



【集計結果】

「1. 遊歩道を利用した散策やジョギング」が38%で最多であり、次に、「4. 景色を眺めてリラックスしたい」が27%、合計で65%と回答の過半数を超えています。「3. 木陰を日陰として利用したい」は19%、「2. 草地に座って休息したい」は8%となっています。「回答なし」も3%確認されます。

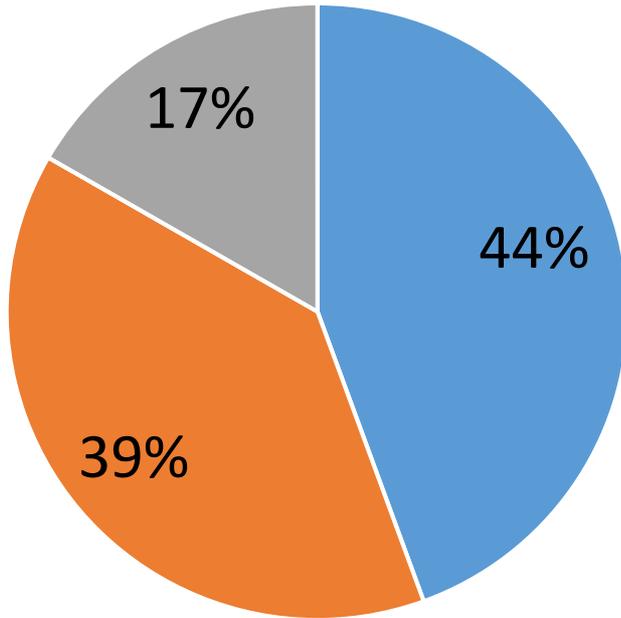
【結果分析】

「1. 遊歩道を利用した散策やジョギング」及び「4. 景色を眺めてリラックスしたい」が合計で65%と回答の過半数を超えていますが、一方で、「3. 木陰を日陰として利用したい」が19%、「2. 草地に座って休息したい」も8%あることから、利用想定は、緑地の中に、奥までは立ち入らずとも、隣接部分の利用想定はあるものと考えられます。

2 黒浜緑地の整備方針について、おたずねします

こちらの項目は、安心安全への懸念、落葉や落枝などの課題解決のための整備方針について、部分別に回答をお願いする設問となります。

2-問1 緑地整備方針について、伐採、剪定、現状のまま、いずれが良
いと考えていますか？（○は1つ）



- 1. 緑地の樹木を伐採、伐根し、斜面を整備する。
- 2. 緑地の樹木の幹は残しつつ、落葉、落木が少なくなるよう剪定するとともに、今後の管理をしやすくするために間引いていく。
- 3. 緑地の樹木は現状のまま、剪定のみ行う。
- 4. その他
- 回答なし

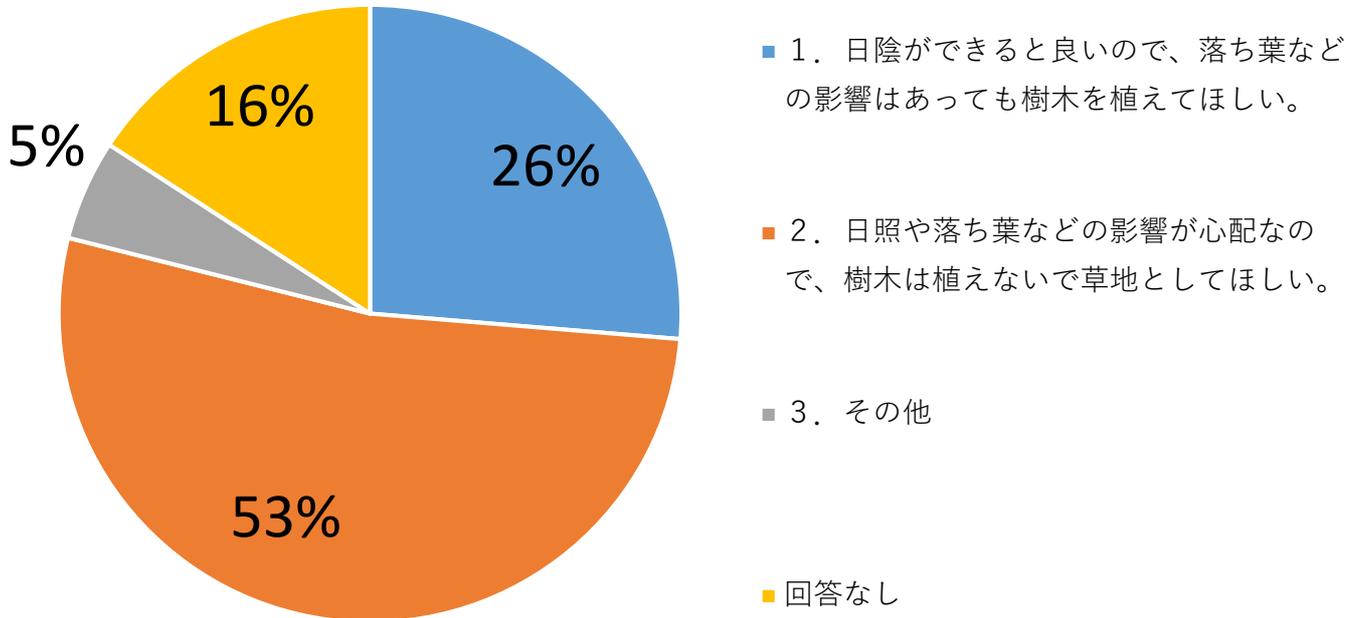
【集計結果】

「1. 緑地の樹木を伐採、伐根し、斜面を整備する」が44%で最多、「2. 緑地の樹木の幹は残しつつ、落葉、落木が少なくなるよう剪定するとともに、今後の管理をしやすくするために間引いていく」が39%、「3. 緑地の樹木は現状のまま、剪定のみ行う」が17%という結果でした。

【結果分析】

「1. 緑地の樹木を伐採、伐根し、斜面を整備する」が最多であるが、「2. 緑地の樹木の幹は残しつつ、落葉、落木が少なくなるよう剪定するとともに、今後の管理をしやすくするために間引いていく」も同程度の割合であることから、樹木整理が必要なことは共通認識であるが、伐採か剪定か、伐採の場合に伐根まで行うのか、間引きの範囲等については、箇所により判断が異なるものと考えられます。また、「3. 緑地の樹木は現状のまま、剪定のみ行う」も割合は少ないが、前出2案に続く案として、配慮しておく必要があると考えられます。

2-問2 斜面の上部と下部の平坦な部分の整備についてお伺いします。
(○は1つ)



【集計結果】

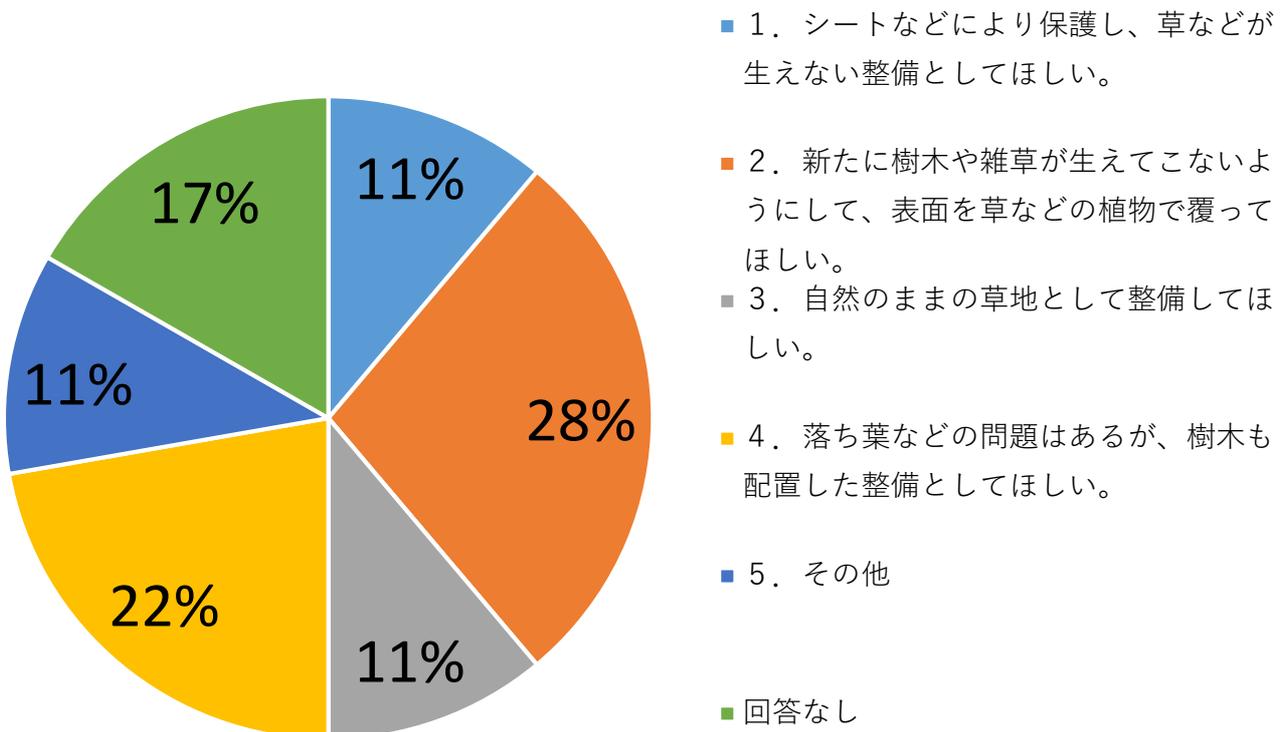
「2. 日照や落ち葉などの影響が心配なので、樹木は植えないで草地としてほしい」が過半数を超えており、対して、「1. 日陰ができると良いので、落ち葉などの影響はあっても樹木を植えてほしい」との回答は26%、「3. その他」の回答は4%であり、「回答なし」は16%という結果でした。

【結果分析】

「2. 日照や落ち葉などの影響が心配なので、樹木は植えないで草地としてほしい」が過半数を超えており、「1. 日陰ができると良いので、落ち葉などの影響はあっても樹木を植えてほしい」の2倍の割合であることから、新たな植栽等を行わないことが好ましいと考えられます。一方、「回答なし」に一定の割合もあるため、可能な限り、その意図についても配慮対象とできることが良いと考えられます。

5号緑地 アンケート調査結果報告書

2-問3 斜面部分の整備の方法についてお伺いします。(○は1つ)



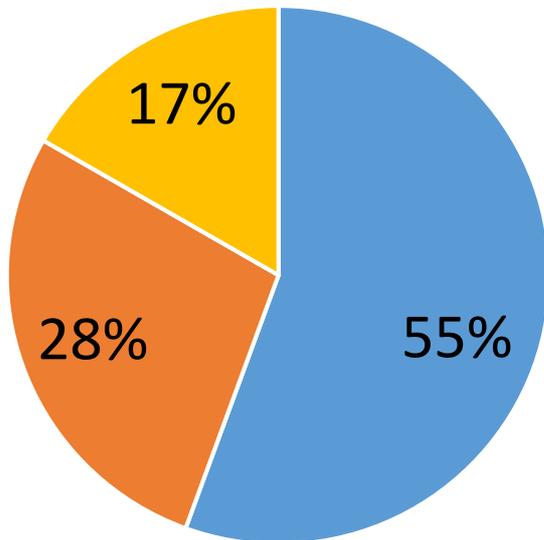
【集計結果】

「2. 新たに樹木や雑草が生えてこないようにして、表面を草などの植物で覆ってほしい」が28%で最多であり、「4. 落ち葉などの問題はあるが、樹木も配置した整備してほしい」が22%で次点、続いて、「回答なし」が17%、それ以外の3つの回答は、いずれも11%という結果でした。

【結果分析】

「2. 新たに樹木や雑草が生えてこないようにして、表面を草などの植物で覆ってほしい」と「4. 落ち葉などの問題はあるが、樹木も配置した整備してほしい」で分かれています。しかし、「1. シートなどにより保護し、草などが生えない整備してほしい」が少ない割合であることを踏まえれば、樹木の有無と範囲等の違いはあれ、斜面の保護に関しては、表面を植物系で覆うことが望まれていると考えられます。一方、「回答なし」にも17%の数字があるので、可能な限り、その意図についても配慮対象とできると良いものと考えられます。

2-問4 安全を考慮し転落防止のため斜面部分周辺（斜面上部及び脇）にフェンスの設置を検討しております。これを踏まえ、斜面部分の活用方法についてお伺いします。（○は1つ）



- 1. 斜面地から家の中が覗かれてしまうこと、転倒の危険性があるので、斜面地は立ち入り禁止としてほしい。
- 2. 斜面地の維持管理に協力したいので、斜面地は立ち入り禁止としないほしい。
- 3. その他
- 回答なし

【集計結果】

「1. 斜面地から家の中が覗かれてしまうこと、転倒の危険性があるので、斜面地は立ち入り禁止としてほしい」が55%で過半数、次いで、「2. 斜面地の維持管理に協力したいので、斜面地は立ち入り禁止としないほしい」が28%であり、「回答なし」は17%という結果でした。

【結果分析】

「1. 斜面地から家の中が覗かれてしまうこと、転倒の危険性があるので、斜面地は立ち入り禁止としてほしい」が過半数、「2. 斜面地の維持管理に協力したいので、斜面地は立ち入り禁止としないほしい」28%の2倍近い割合であることを勘案すると、基本的には、斜面地は立ち入り禁止とする方向性で良いと考えられます。一方では、「回答なし」にも17%の割合があるので、可能な限り、その意図についても配慮対象とできると良いと考えられます。

【整備の方向性】

今回のアンケート調査結果を踏まえ、5号緑地の整備方針に加え、設計業務に反映させる要望としては、以下のとおりであると考えられます。

- ・緑地の斜面部分については、斜面の角度や排水について、必要な対策を講じたうえで、表面については植物による保護を行うことが好ましい。

- ・斜面上部の平坦部分については、落葉や倒木の危険に配慮しながら、一定の植樹を行う場合には、落葉の少ない常緑樹やあまり背が高くないものに限り、草地の部分も設けることが好ましい。

- ・斜面下部の平坦部分については、上部と同じく落葉や倒木の危険に配慮しながら、一定の植樹を行う場合には、留意事項も上部と同一であると考えられます。また、平坦な草地として、活用していただくことも考えられる。

- ・斜面の上部下部ともに、樹木の高さについては、住宅等に近接・隣接する部分を中心に抑える必要があるが、利用目的からは一定の木陰を形成することも望まれる機能であると考えられる。

- ・望まれる機能に関して、斜面部分については、斜面地の奥での活動を前提とする回答は少なく、景観など斜面部分への立ち入りを必要としない回答が多いが、遊歩道（緑道）の隣接部分等の活用は想定されると考えられる。

- ・斜面の利用については、立ち入りを想定するものではないので、上部はプライバシーの保護と転落防止を目的とした、比較的頑強なフェンスやガードレール等設置することが好ましく、手前部分は草地としても良いものと考えられる。

- ・下部については、斜面部分との分離を行うため、低灌木の植樹や柵の設置を行う必要があるが、進入を完全に不可能とするほどの強固な設備は必要ないと考えられる。

- ・「回答なし」が多くなっていることに関して、当該号地には、隣接というより近接という住民等が多いこと、その多くが緑地に直接面していない等の事情があると考えられる。

- ・そのため、その地区における生活環境への影響等も十分に勘案し、配慮事項として反映させることが好ましいと考えられる。

5号緑地 アンケート調査結果報告書

《その他でいただいたご意見》

1-問1	安全性の推進の為。
	この辺は、街灯も少なく、人気も少ない場所なので、見通しを良くしてもらえると安心です。
	良いことはありません。以前のような森林に戻すべきだと思います。
	虫類の減少を期待。
1-問2	人気が少ない道でも安心して子供達に歩いてもらう事ができる。
	良いことはありません。以前のような森林に戻すべきだと思います。
2-問1	
2-問2	高木を伐採、落ち葉の多い紅葉樹は間引きにしてほしい。ただし、木陰や景観は活かしてほしい。
2-問3	コンクリートと草で斜面の保護。
	車道に草、枝等出ない様に！
2-問4	